

「復興・再生戦略協議会」「グリーンイノベーション戦略協議会」
「ライフイノベーション戦略協議会」の設置について

平成24年3月21日
総合科学技術会議
科学技術イノベーション政策推進専門調査会

1. 趣旨

第4期科学技術基本計画第Ⅱ章を推進する「科学技術イノベーション戦略協議会」として、「復興・再生戦略協議会」「グリーンイノベーション戦略協議会」「ライフイノベーション戦略協議会」を設置する。

2. 役割及び期待される成果

<役割>

- ・ 震災からの復興・再生、グリーンイノベーション、ライフイノベーションそれぞれの課題達成の観点から、イノベーションを実現するために必要なシステム改革（規制・制度改革、導入促進策等）を含め、府省の枠組みを超えて国として推進すべき戦略、取組内容案を具体化する。
- ・ 上記戦略等のPDCAサイクルを実施する。
- ・ 産学官をはじめ、多様で幅広い関係者の連携・協力を行う場としての役割を果たす。

<期待される成果>

- ・ 科学技術重要施策アクションプラン（案）を取りまとめ、科学技術イノベーション政策推進専門調査会へ提案する。
- ・ イノベーションを実現するために必要なシステム改革（規制・制度改革、導入促進策等）を取りまとめ、科学技術イノベーション政策推進専門調査会へ提案する。

3. 公開

原則公開で行う。

4. 戦略協議会の庶務

政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）において処理する。

グリーンイノベーション戦略協議会 構成員名簿

(五十音順)

奥平 総一郎 トヨタ自動車株式会社 常務役員
笠木 伸英 独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
柏木 孝夫 東京工業大学 特命教授
亀山 康子 独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター
持続可能社会システム研究室長
熊田 亜紀子 東京大学大学院 工学系研究科 准教授
呉 雅俊 株式会社TNPパートナーズ 代表取締役社長
斎藤 健一郎 JX 日鉱日石エネルギー株式会社 研究開発企画部 部長
高橋 常夫 株式会社エヌエフ回路設計ブロック 代表取締役社長
武田 晴夫 株式会社日立製作所 研究開発本部 技術戦略室長
松尾 時雄 旭硝子株式会社 執行役員 CSR 室長
松下 祥子 東京工業大学大学院 理工学研究科 准教授
三村 信男 茨城大学 地球変動適応科学研究機関 機関長
村上 暁信 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授
森川 博之 東京大学 先端科学技術研究センター 教授
安永 円理子 東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授

(科学技術イノベーション推進専門調査会 専門委員)

北城 恪太郎 日本アイ・ビー・エム株式会社 相談役
久間 和生 三菱電機株式会社 常任顧問

(総合科学技術会議議員)

相澤 益男 総合科学技術会議議員
大西 隆 同

関係府省

総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

科学技術イノベーション戦略協議会（概要）

戦略協議会のミッション

- 科学技術イノベーション政策に関し、課題達成の観点から、府省の枠組みを超えて**国として推進すべき戦略、取組み内容案を具体化**
- イノベーションを実現するために必要な**システム改革（規制・制度改革、導入促進策等）**に関し**具体的に提案**
- 協議結果は、**科学技術重要施策アクションプラン**としてとりまとめ、科学技術イノベーション政策の実行に具体的に反映
- 産学官の連携を通じ、戦略の検討から実行に至る**PDCAサイクルを実施**
- 多様で幅広い関係者による、**連携・協力のプラットフォーム**を形成

期待される成果

科学技術イノベーション政策推進専門調査会への提案

- **科学技術重要施策アクションプラン原案**
- **必要なシステム改革（規制・制度改革、導入促進策等）**

設置する戦略協議会

復興・再生
戦略協議会

東日本大震災による深刻かつ広範な影響を早期に軽減・緩和し、力強い復興・再生を実現するため、科学技術イノベーションを強力に推進し、産業の再生、社会インフラの再構築を目指す

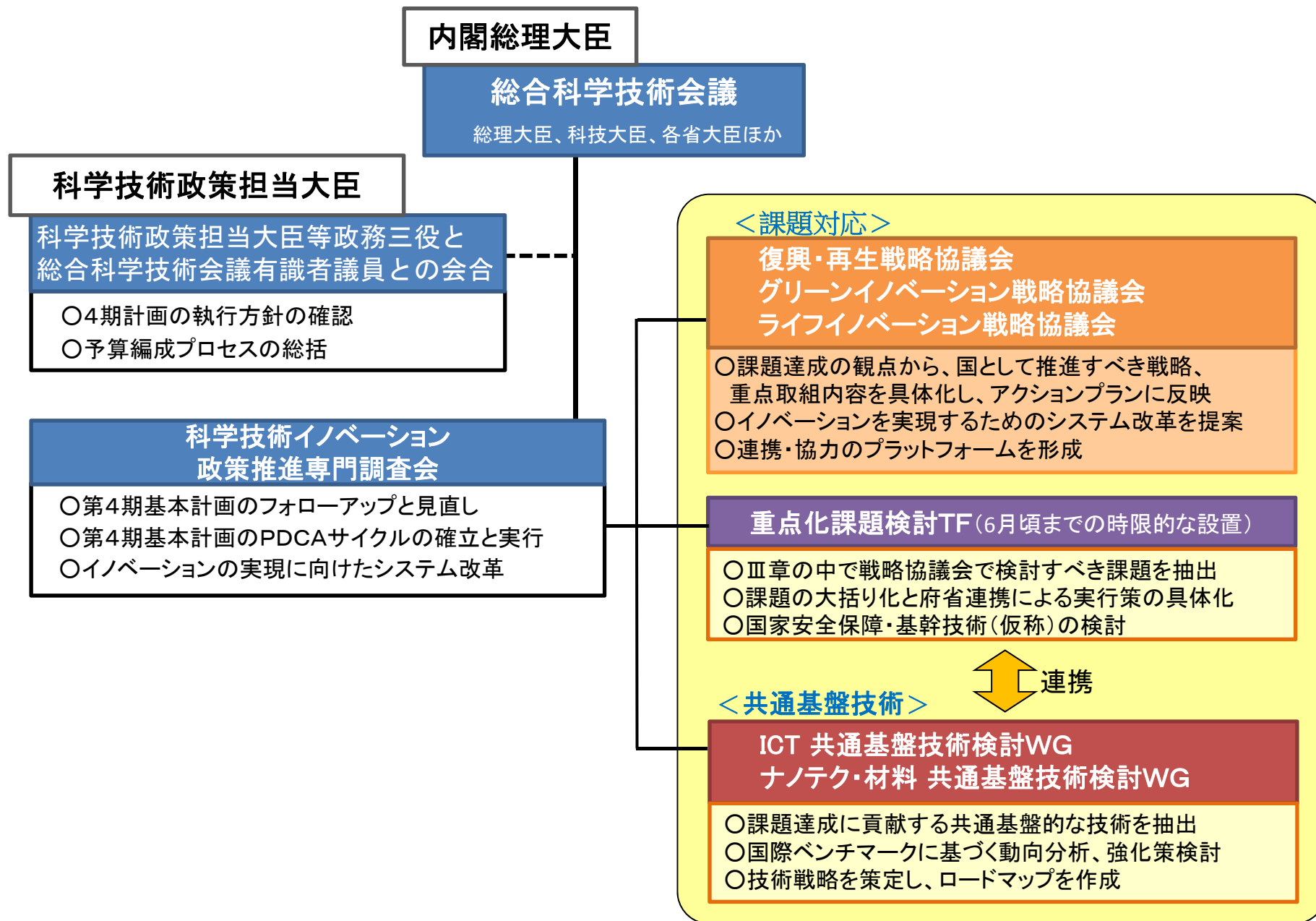
グリーンイノベーション
戦略協議会

地球規模の気候変動への対応とエネルギーの安定確保という二つの課題に対応するため、グリーンイノベーションを強力に推進し、世界に先駆けた環境・エネルギー先進国の実現を目指す

ライフイノベーション
戦略協議会

国民が心身ともに健康で、豊かさや、生きていることの充実感を享受できる社会を実現するため、ライフイノベーションを強力に推進し、医療・介護・健康サービス等の産業の創生・活性化を目指す

第4期科学技術基本計画の推進体制会議体間の関係



第4期科学技術基本計画の推進体制とイノベ戦略協議会の位置付け

I. 基本認識

1. 日本における未曾有の危機と世界の変化

東日本大震災を世界的課題と捉え、あらゆる政策手段を動員して震災対応に取り組む必要がある。我が国と世界は、政治、社会、経済的に激動の中にあり、科学技術に求められる役割も大きく変化。

<日本における未曾有の危機>

- ・ 東京電力福島第一原発事故を含めた大震災による直接的、間接的被害
- ・ 少子高齢化、人口減少の進展、社会的、経済的活力の減退
- ・ 産業競争力の長期低落傾向

<世界の変化>

- ・ 地球規模問題の顕在化、資源、エネルギーの獲得競争激化
- ・ 新興国の経済的台頭、経済のグローバル化の進展
- ・ イノベーションシステムの変化、頭脳循環の進展

2. 科学技術基本計画の位置付け

今後5年間の国家戦略として、新成長戦略を幅広い観点から捉えて深化、具体化し、他の重要政策との一層の連携を図りつつ、我が国の科学技術政策を総合的に推進するための基本方針

科学技術イノベーション政策推進専門調査会

- ・ 個々の成果が社会的課題の達成に必ずしも結びついていない。
- ・ 論文の占有率の低下、論文被引用度の国際的順位も低水準
- ・ 政府投資は増加傾向にあるものの、近年伸び悩み
- ・ 大学の若手ポスト減少、施設・設備の維持管理に支障
- ・ 科学技術に対する国民の理解が必ずしも得られていない

第4期科学技術基本計画の理念

(1) 目指すべき国の姿

① 震災から復興、再生を遂げ、将来にわたり持続的な成長と社会の発展を実現する国

② 豊かな生活と質の高い国民生活を実現する国

③ 自然災害など地球規模の問題解決に先導的に取り組む国家存立の基盤となる科学技術を保持する国

④ 知の資産を創出し続け、科学技術を文化として育む国

(2) 今後の科学技術政策の基本方針

① 「科学技術イノベーション政策」の一体的展開

② 「人材とそれを支える組織の役割」の一層の重視

③ 「社会とともに創り進める政策」の実現

II. 将来にわたる持続的な成長と社会の実現

復興・再生戦略協議会

グリーンイノベーション戦略協議会

ライフイノベーション戦略協議会

III. 我が国が直面する重要課題への対応

重点化課題検討TF

ICT共通基盤技術検討WG

ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討WG

科学技術外交戦略TF

IV. 基礎研究及び人材育成の強化

基礎研究及び人材育成部会

V. 社会とともに創り進める政策の展開

科学技術イノベーション政策推進専門調査会